

会議の名称	第1回タウンミーティング
開催日時	平成26年5月24日（土）午前10時～午前11時
開催場所	愛西市文化会館 大研修室
出席者	市長、副市長、総務部長、企画部長 参加者 51名
テーマ	愛西市の財政、将来展望を含めた市政運営について
質疑応答	
市民A	今、市長からスライドでいろいろ説明されましたが、データは、話とスライドでは記憶に残らないので印刷して手元にいただきたいです。数字のデータは印刷して渡してください。印刷することがたいした負担になるとは思えないのでお願いします。
市長	私の個人的な考えではございますが、データを先にお渡ししてしまいますと、なかなかこちらのお話を聞いていただけないのではと思ひまして、パワーポイントを使わせていただきました。少しでも話を聞いていただきたいと思ひまして、このような形をとりました。ご意見は、今後のタウンミーティング等の会議で参考とさせていただきますと思ひます。ありがとうございました。
市民B	市は広くて農家も多いです。中型・大型のトラクターを持っている方も多くいらっしゃいます。災害が起こって道路が浸水した場合、普通の車は走れませんが、トラクターなら走ることができます。液状化しても要介護者などの避難の際にトラクターを活用することができます。このことを市民の皆さんや農家の皆さんにも知ってもらいたいです。
総務部長	現在、市内に179の自主防災会が設置されています。ご提案のありましたトラクターを活用するというのも一つの手法だと思います。自主防災会がそれぞれ活動されていますが、先ほど市長から話がありましたが、立田地区で10月に自主防災会と地域の皆さんで訓練を行う予定です。おっしゃられたように立田地区は農家が多くトラクターを所有している方もいらっしゃる。先ほどのご意見を伺いまして液状化が起こった場合のトラクターの活用について今後参考にさせていただきます。
市民C	マニフェストにありました将来の展望ということについて伺います。愛西市は若くて気力に満ちた市長さん、有能な副市長さんに来ていただきましてこのままでいけば、将来明るい道が開けるような気がいたします。市のたった一つの泣き所は、公立病院がないところです。これだけはどうにもならない泣き所と言えらると思うので

	<p>すが、本来は、十年前の町村合併の時、県の考え方としてはもう少し規模の大きな中規模都市構想があって、海部郡全体と津島市も入れて中規模の都市を作りたいという思いがあったことを漏れ聞きしております。しかし、残念ながらそれは実現できませんでした。私は、小学校4年生から昭和44年まで津島市に住んでおりまして津島市の体質、津島と佐屋との間の気持ちの少し離れたところを知らないわけではありません。それを考えますと10年前はズバリ言えば津島市はやや思い上がった上から目線で、津島は違うんだという気持ちがどこかにあったような気がします。でも、今となってみると津島税務署管内の土地の値段は、津島市が一番ではなく、蟹江が一番になっているのが現状です。いつまでも津島市が上から目線でものを言える時代ではないと思います。逆に言うと中規模の都市を作る、ある意味チャンスが訪れたという気がいたします。でも人によっては遅いという人もいます。私もそう思わないわけではありません。今、立派な庁舎ができようとしています。いますぐというのではなく、将来の展望として県がどう言うかわかりませんが、中規模の都市、岡崎市や一宮市のような中規模都市を作るようなことを心の片隅に考えていただくことが必要ではなからうかと思っております。今この場で確固たる回答をととは思っておりません。ぜひ、頭の片隅にこのことを覚えていただいでこれからの将来の展望を考えていただきたいと思っております。せっかく馴染んだ愛西市、せっかく喜んで市民が受け入れている新しい市長さん、皆さんの気持ちにややそぐわないかもしれませんが、よろしく申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。愛西市内には八開診療所もございますので、何かありましたらご利用ください。</p>
<p>市民D</p>	<p>今、市長さんから詳しいご説明をいただきました。現在、ヒナガノミクスが昨年から着々と推進されているようでございますので、たいへんうれしく思っておりますが、一つ要望したいと思っております。先ほども少子高齢化について話がありましたが、少子化というより多子化を目指して3人以上の子どもさん、3人目のお子さんから少なくとも5千円の補助をしてはどうかと提案したことがありますが、財政状況がそのようにならないので実現されませんでした。国も多子化に対して助成をしたらどうかと思っております。先ほど財政力指数の説明があり財政も厳しいようですが、愛西市が全国に先駆けて多子化について助成をしていくとありがたいと思っております。単に少子高齢化だけを叫ぶのではなく、多子化、子どもを多くすること</p>

	<p>の方に考えを向けていただければと思うわけです。もし、愛西市で行われれば全国から「愛西市ここにあり」ということになるかと思えます。3人目以上の子ども達が私たちが今あるのはこのような市の助成によってあるんだとうれしく思うのではなかろうかと思えます。多子化については、助成金だけでなく、児童館にしろ保育園にしろいろいろあると思えますが、いろいろな面で多子化ということ将来展望に入れていただけるとありがたいと思えます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。様々な事業がありますので、お子さんに対するサービスについても現在いろいろ行っておりますので、トータル的に考えていかなければならないと思っております。事業全般にわたって言えることですが、一つ一つをとらえると問題もごございますが、トータル的に考えることも必要ではないかと考えています。</p>
市民E	<p>巡回バスが4台あって現在どのくらいの経費がかかっているのでしょうか。</p>
総務部長	<p>市長から話がありましたが、このたび新たなルートを設定してちょうど2か月程です。巡回バスも委託をしております委託費が年間4千万ちょっとだったと記憶しております。</p>
市民E	<p>かなりの金額ですね。4千万は。津島市や弥富市は100円ずつ取っています。愛西市も、いろいろ問題はあると思えますが、ある程度は経費削減といえますか、ただほど安いものはないので、100円くらいは取ったらどうでしょうか。個人的な提案ですが。走っているバスを見てみるとガラガラの状態です。</p> <p>もう1点は財政にからんだものですが、公共施設の屋根貸し、いわゆる電気の事業者の太陽光発電。愛西市も㎡数にするとかなりになると思いますが、事業者を選んでお金をもらえるような取り組みをしたらどうでしょうか。ある程度ビジネスを考えて収入につながることを考えてはどうでしょうか。</p>
総務部長	<p>巡回バスについてですが、先ほども申し上げましたが、改正をして2か月程経ちました。バスの検討委員会がありまして、委員会の中でも先ほどおっしゃったように将来的にこのまま無料でいいのかと、たとえ100円でも取ったらどうかと、取るべきではないかというご意見がありました。ゆくゆくは受益者負担といえますか、バスを利用する方に費用を負担していただくかが課題として残っていますので、今後検討委員会でも料金についてきちんと検討していかなければと思っています。</p>

	<p>2点目の屋根貸しの件ですが、他市でそのような取り組みをしているところもあると承知をしております。現状を申し上げますと、合併によりましてそれぞれの町村が持っておりました土地、財産がありまして、その普通財産、目的のない土地を何とか有効活用できないかと議会からもご指摘を受けておりました。現在、太陽光発電に活用していただこうと、ちょうど2件ほど話を進めております。土地を有効活用する中で借地料をいただく、延いては自主財源につながるということで、建物ではございませんが、土地については進めておりますのでご理解をいただきたいと思います。</p>
市民C	<p>先ほどは将来展望と称して、いろいろなお願いをしまして大事なお礼を言うことを忘れました。市に住んでときどき会う人達との話の中でよく話を聞きますが、中央図書館の件です。市には中央図書館を中心に3つの図書館がありますが、私は、中央図書館をよく利用します。中央図書館は、津島市や弥富市の方がよくいらっしゃる。津島にも弥富にも図書館があるのに中央図書館にいらっしゃる。これは中央図書館が充実しているということだと思います。中央図書館にない本、例えば三河の田原とか焼津とか県の図書館はもちろんですが、本を取り寄せてもらえる。皆さんそのことをよく知っているものですから、津島市や弥富市から境を越えていらっしゃるのが現状です。利用する者にとっては非常にありがたいことです。感謝を申し上げて、財政はかなり厳しくたいへんとのことですが、どうか自慢できる図書館を持っている愛西市、ぜひ、市民が愛西市に住んでよかったと思えるようなまちにしていきたいと思います。</p>
市民F	<p>私は、子育て支援について意見を申し上げたく、途中からではありますが参加をさせていただきました。子どもは大人だけではなく、市民が関わりながらやるという、全国的にも薦めている学校の空き教室を使って行っていた放課後子ども教室がいかによかったかということをお伝えしたいです。大きなお金ではなく、本当に細かいところで子どもを育て、お年寄りに寄り添い、愛西市が健全な市になっていくようにもう一度お願いしたいです。放課後子ども教室に参加していた子どもは少ないのですが、子どもを大人が支え、大人も子供を支えると思いますので、もう一度考えていただきたいと思います。</p>
市長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。今後についてもできるだけ事業費を少なく、効果が得られる、そして大事なものを守っていくという姿勢で市政運営をしていきます。子どもさんの事業につい</p>

	でも同様に思っておりますので、よろしくご理解をいただきたいと思いをします。
市民D	一言お礼を申し上げるのを忘れておりました。老人クラブは、平成21年の時、国の予算が30億4千万、県が全体の1/3、市が1/3、国も1/3で補助をいただいていた。ところが平成22年度には27億6千万になった。この減額について質問したところ、すべての県や市がこの金額にしてきたということで、国も同様にしたとの回答でした。しかし、前市長の時から他の市町は減額しても、愛西市からは今までと同じように助成をいただいております。本当にありがたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。
市長	財政厳しいものですから、今後にご協力をお願いいたします。